

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

朝来市長 藤 岡 勇

市町村名 (市町村コード)	朝来市 (282251)
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市山東町粟鹿地域 (西谷区)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月3日 (第4回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

高齢者が多く、若手農業者がいない。  
中山間地に農地があるので、法面等の草刈や管理が困難になっている。  
山崩れなどにより、用水路が壊れて復旧が困難な状態である。

## (2) 地域における農業の将来の在り方

営農組織で地区内の農地維持管理を行う。  
認定農業者や担い手確保し、農作業委託などを行っていく。  
獣害防止のため、柵の点検や整備を行い、農作物の被害を減少させていく。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	16.80 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	12.87 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地区内の農用地区域内農地を中心とした今後活用するであろう農地を区域とした。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地バンクの活用、担い手確保を図り、農地利用を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手不足により地区内の農地維持が難しいため、農地バンクの周知を行い、農地の借り手を確保していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
農道、水路の老朽化に伴い、大規模修繕が必要となってくるため、地区内での協議を行い、必要に応じて市と相談しながら対応を図っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区内外の農業者確保を最優先とする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
引き続き、JAによる共同防除を行っていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ① 獣害防止柵の点検、修理、設置を定期的に行う。
- ⑦ 遊休農地を発生させないように、地区内の農業者と協議し適正な管理に努める。